

大学院薬学研究科

研究生出願要項

横浜薬科大学

〒 245-0066 神奈川県横浜市戸塚区俣野町601

大学院 入試広報課：TEL： 0120-76-8089 直通 045-854-2345

FAX： 045-851-1413

目 次

1	出願資格	p 1
2	出願期間	p 1
3	出願に際して必要とする書類等	p 1
4	選考方法	p 1
5	入学許可発表	p 2
6	研究指導料	p 2
7	入学手続き等について	p 2
8	在籍期間	p 2
9	注意事項	p 2
10	領域・分野別研究指導教員及び課題研究	p 3

大学院薬学研究科 研究生出願要項

1 出願資格

- (1) 大学院修士課程を修了した者又は修了見込みの者
- (2) 大学の4年制の理科系学部又は6年制の医歯薬学系学部を卒業した者で前号と同等以上の学力があると認められる者

2 出願期間

- (1) 2024年10月入学
令和6年8月26日(月)～9月6日(金)【後期より履修開始】
- (2) 2025年4月入学
令和7年2月17日(月)～2月26日(金)【前期より履修開始】

3 出願に際して必要とする書類等

入学志願者は、研究員等受入申請書に希望する指導教員の署名及び確認印をあらかじめ得たうえで、出願書類一式を提出してください。

- ① 入学願書
- ② 履歴書
- ③ 最終学校の卒業(修了)証明書
- ④ 本務先がある場合は、所属機関長の承諾書
- ⑤ 研究員等受入申請書
- ⑥ 外国籍の志願者の場合は、外国人登録原票記載事項証明書及びパスポートの写し
- ⑦ 入学検定料 30,000円

※出願書類受領後に振込票を送付いたします。

- ⑧ 返信用封筒(角型2号)

※郵便切手380円分貼付、受取人の郵便番号・住所・氏名を記載してください。

(注)「その他学長が必要と認める書類」の提出を求める場合があります。その場合、別途通知します。

4 選考方法

本学の学生の学修を妨げない限りにおいて、書類審査により選考します。

5 入学発表

選考終了後、下記のとおり本人あてに郵送で本人に通知します。

- (1) 後期から履修開始の出願者：9月中旬～下旬
- (2) 前期から履修開始の出願者：3月中旬～下旬

6 研究指導料

納付金：10,000円（月額）

注 4月（半年分又は1年分）及び10月（半年分）に納付していただきます。また、既納の納付金は返還できません。

7 入学手続等について

- (1) 入学手続・締切日

合格者は本学が指定する日までに手続き書類とともに所定の期日までに研究指導料を納入し、手続きを完了して下さい。（合格者には、合格後に別途詳細をお知らせします。）

- (2) 指定の期日までに手続きを完了しない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意して下さい。

8 在籍期間

原則として1年以内としますが、研究のため必要があるときは、願い出により在籍期間の延長を許可することがあります。

9 注意事項

- (1) 出願手続後の書類の変更及び入学検定料の払い戻しはできません。
- (2) 通学される際に学割定期は適用されません。
- (3) (財)日本国際教育支援協会の学生教育研究災害傷害保険及び学研附帯賠償責任保険には、任意加入することができます。

研究内容等を確認・検討の上、入学後すみやかに加入の手続きを申し出てください。

- (4) 願書の請求は教務課あてとし、郵便で請求する場合は宛先を明記し郵便切手410円分を貼付した返信用封筒（角型2号）を送付してください。なお、請求用封筒の表には「大学院研究生願書請求」と朱書きしてください。

11 資料送付先・に関する問合せ先

〒245-0066神奈川県横浜市戸塚区俣野町601

横浜薬科大学 教務課 大学院担当 直通：045-859-1320

メール：daigakuin@hamayaku.ac.jp

12 領域・分野別研究指導教員及び課題研究

研究領域	教員名	職位	研究室名	内線	課題研究
創薬化学	庄 司 満	教 授	天然有機化学	7070	生理活性化合物の合成および機能に関する研究
	波多江典之	教 授	薬品反応学	7098	スイッチング反応の制御機構の解明に基づく分子設計
	塚本 裕一	教 授	創薬化学	8009	創薬研究への応用を指向した新規触媒反応の開発
	鰐淵 清史	准教授	天然有機化学	7058	生物活性物質と受容体の特異的相互作用の解明
ライフサイエンス	岡 美佳子	教 授	臨床薬理学	8082	分子生物学・組織学的手法を用いた疾病の発症機序の解明、予防薬の探索
	田邊 由幸	教 授	薬理学	8069	病態血管と肥大化脂肪組織での細胞機能と薬物制御に関する研究
	川 嶋 剛	教 授	分子生物学	8063	分子生物学的技術を用いた遺伝子発現制御機構の解明
	川 嶋 芳枝	教 授	生化学	8012	脊椎動物の形態形成関連遺伝子およびその発現パターンの変異とヒト疾患との関連に関する研究
	高橋 哲史	准教授	漢方治療学	8068	遺伝子多型と病態発症の関係の解析および消化器疾患を標的とした創薬研究
	松岡 秀忠	准教授	分子生物学	7096	精神疾患関連分子の生理機能およびその破綻による病態の解明
	浅井 将	准教授	漢方天然物化学	7036	アルツハイマー病憎悪因子の作用機序を明らかにすることによる、新たな標的に対するアルツハイマー病の治療薬の創造
ヘルスサイエンス	埴岡 伸光	教 授	公衆衛生学	7020	薬物代謝酵素の多様性に着眼した化学物質の毒性発現機序の解明
	香川 聡子	教 授	環境科学	8074	環境化学物質の気道刺激に関与する生体要因とその作用機構の解明
	越智 定幸	教 授	感染予防学	7072	分子疫学からの原因微生物の同定と比較ゲノム解析
	曾根 秀子	教 授	I P S 統括室	7083	毒性学、幹細胞を活用した病態解析と予防・個別化医療への応用
	河村伊久雄	教 授	環境科学	7095	細胞内寄生菌に対する感染防御誘導機序の解析—細菌病原因子の関与について—
	三浦 伸彦	教 授	環境科学	7089	薬毒物の感受性時刻差および概日リズムを考慮した健康影響解析
	大河原 晋	教 授	公衆衛生学	7029	複合糖質および関連分子の構造および生体機能解析
	速水 耕介	教 授	食化学	7037	機械学習を用いた構造活性相関に関する研究
	磯部 隆史	准教授	公衆衛生	8013	環境汚染化学物質の吸着除去に関する研究
	高橋 栄造	准教授	感染予防学	7099	下痢原因細菌の遺伝子発現調節機構の解明
臨床薬学	千葉 康司	教 授	臨床薬理学	7059	モデリング・シミュレーション技術を用いた薬物動態・薬効の予測に関する研究
	弓田 長彦	教 授	薬物動態学	8015	物理エネルギーを利用したドラッグデリバリーシステムに関する薬物動態学的研究

研究領域	教員名	職位	研究室名	内線	課題研究
臨床薬学	山田 博章	教授	レギュラトリーサイエンス	7071	医薬品の開発や市販後安全対策、薬剤師の職能等に関わる規制の効果や問題点の科学的評価を目的とした研究
	岡田 賢二	教授	臨床薬理学	7001	小児薬物療法に適応できる母集団薬物動態モデルの評価法と母集団薬物動態一生理学的薬物速度論モデルの構築
	岩瀬由未子	准教授	薬物動態学	7044	音響化学的作用を利用した難吸収性薬物の消化管吸収増大に関する研究
	吉門 崇	准教授	臨床薬理学	8083	薬物トランスポーター・代謝酵素が関わる薬物相互作用および薬物動態の個人差をターゲットとした数理モデル解析
	矢野健太郎	准教授	薬物動態学	8002	薬物耐性亢進の主な原因としての排出佳トランスポーターの機能亢進にかかる誘導因子の同定等に関する研究
漢方薬学	梅原 薫	教授	漢方天然物化学	8085	生理活性を指標とした伝承薬中の有用成分の解明
	喩 静	教授	漢方薬物学	7007	ステロイドホルモン受容体に着目した、血管老化・フレイルに対する漢方薬の作用機序の解明
	李 宜融	教授	薬用資源学	7003	伝統医薬の考証研究および新たな資源利用の探索